LIXIL

ソラエルⅡ　ウィンスリーポートⅡ 本体編　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

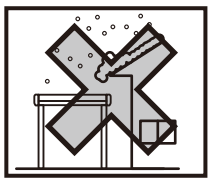
安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●電気配線工事は「電気工事業法」・「電気工事士法」・「労働安全衛生規則」および「電気設備技術基準」にしたがってください。
●当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
●本製品は一般地域用1000タイプで積雪50cm以下での地域用です。（建築基準法による垂直積雪量）
●本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
●崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
●住宅等、建築物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。落雪により、製品が破損する可能性があります。
●ソーラーパネルおよびウィンスリーポートⅡからの落雪を考慮した位置やソーラーパネルの傾斜の向きなどを確認して設置してください。
●強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。



●給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
●梁の重量がありますので、必要人数の確保又はユニック車を使用してください。

※ソーラーパネルの設置条件は、太陽光が照射している時間に設置場所を確認することが重要です。障害物や向きによって、実際の発電量に影響がありますので、必ず事前にソーラー施工者の現場調査を依頼して確認してください。
※接続箱は住宅の壁面に取付けすることも可能です。
※屋根折板の手配について
・板厚0.6mm、幅600mm、山高88mm、山ピッチ200mmのスチール折板（カラー鋼板またはガルバリウム鋼板）を現場手配してください。
・スチール折板にはペフ（ポリエチレンフォーム断熱材）付きもあります。
・取付けの際は折板から切粉を取除いてください。サビの原因となることがあります。

＜施工の前に（つづき）＞

ポイント

●給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●製品の強度・性能を低下させないために、取付説明書の順序通りに組付けてください。

＜基礎工事について＞

注 意

●基礎コンクリート打設は、柱に梁を固定し側枠を仮止めした上で、柱のピッチ、垂直、向き、梁の水平と側枠でウィンスリーポートⅡ折板屋根の水こう配（基本仕様2° 傾斜）を確認してから行なってください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
●養成期間は十分（4日～1週間）とり、その間重いものをのせたり振動させたりしないよう指示してください。
●地下埋設物（給排水管、電線管など）に影響を与えないように、ご注意ください。
●設置場所、現地地耐力、設置条件によって基礎サイズが異なります。

ポイント

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

＜施工上のご注意＞

注 意

●「雪下ろしシール」は、竪樋を取付けない側の柱の見やすい面に貼付けしてください。
●水平・垂直は正確に出してください。施工に支障が出るおそれがあります。
●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
●水漏れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

ポイント

●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

＜施工の後に＞

※取扱説明書はお施主様にお渡しください。

INDEX

1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法と各部の名称…… 6
　1．各部の名称…… 6
　2．基本寸法…… 7
3　本体の施工方法…… 9
　1．事前確認…… 9
　2．基礎の施工…… 10
　3．梁の取付け…… 12
　4．タイトフレーム・梁キャップの取付け…… 13
　5．折板・側枠の加工…… 14
　6．化粧枠の取付け オプション …… 15
　7．折板・側枠の取付け…… 16
　8．水上面戸の取付け…… 18
　9．前後枠の取付け…… 19
　10．竪樋の取付け…… 22
　11．雪下ろしシールの貼付け…… 23
　12．水切りパッキンの取付け オプション …… 24

1　梱包明細表

【1】柱セット

名　　称	略　図	員　数
中間柱（L＝2990）（※1）		1

※1：全ての柱は、ソラエル ウィンスリーポートⅡの場合は中間柱を使用します。

【2】梁セット

名　　称	略　図	員　数		
		1台用	幅55	幅60
梁135		1	―	―
梁240		―	1	1

【3】長さセット

名　　称	略　図	員　数	
		奥行55	奥行60
側枠		2	2

【4】幅セット

名　　称	略　図	員数		
		幅30	幅55	幅60
前後枠（水上）		1	1	1
前後枠（水下）		1	1	1
竪樋（L＝3000）		1	1	1

【5】タイトフレームセット

名　　称	略　図	員数		
		幅30	幅55	幅60
タイトフレームエンド用（ポリカ用）		6	6	6
タイトフレーム中間用（ポリカ用）		12	24	27
ルーフボルトキャップ		48	84	93
折板固定用笠ワッシャー		48	84	93
折板固定用パッキン（ポリカ折板用）		48	84	93
【5-1】φ5×14ナベタッピンネジ3種		65	118	130

【6】竪樋セット

名　　称	略　図	員数
竪樋（L＝1400）		1

【7】水上面戸セット

名　　称	略　図	員数
水上面戸		3
パッキン		1
【7-1】φ4×16ナベドリルネジ		6

【8】シリコーンセット

名　　称	略　図	員数
シリコーン		1

【9】部品セット

名　称	略　図	員　数	
		梁135	梁240
梁固定金具C		6	6
梁固定金具裏板		12	12
雨樋キャップL		1	1
雨樋キャップR		1	1
枠コーナーキャップL		2	2
枠コーナーキャップR		2	2
側枠固定金具R		1	1
側枠固定金具L		1	1
雨樋アタッチメント		1	1
雨樋穴ふさぎ		1	1
エルボ		2	2
でんでん		3	3

【9】部品セット（つづき）

名　称	略　図	員　数	
		梁135	梁240
ドレンエルボ		1	1
雨樋パッキン		2	2
接着剤		1	1
梁キャップ135		6	−
梁キャップ240		−	6
ブチルコーキング（50g）		1	1
アンカー棒φ8×200		6	6
雪下ろし注意シール　900N		1	1
取付説明書〈D546〉	−	1	1
取扱説明書〈UD114〉	−	1	1
【9-1】M10×20 六角ボルト（PW+SW）		24	24
【9-2】M10六角ナット		24	24
【9-3】M10バネ座金		24	24
【9-4】φ4×16ナベドリルネジ		43	43
【9-5】φ4×16 ナベドリルネジ（スズメッキ）（※1）		24	24

※1：【9-5】φ4×16ナベドリルネジ（スズメッキ）は、側枠・折板固定用に使用します。

【10】化粧枠　オプション

名　称	略　図	員　数		
		L3000	L5400	L6000
化粧枠（1本入）（※2）		1	1	1
【10-1】φ4×13ナベドリルネジ		8	12	12

※2：化粧枠は、側枠と前後枠に取付ける際、必要本数拾ってください。

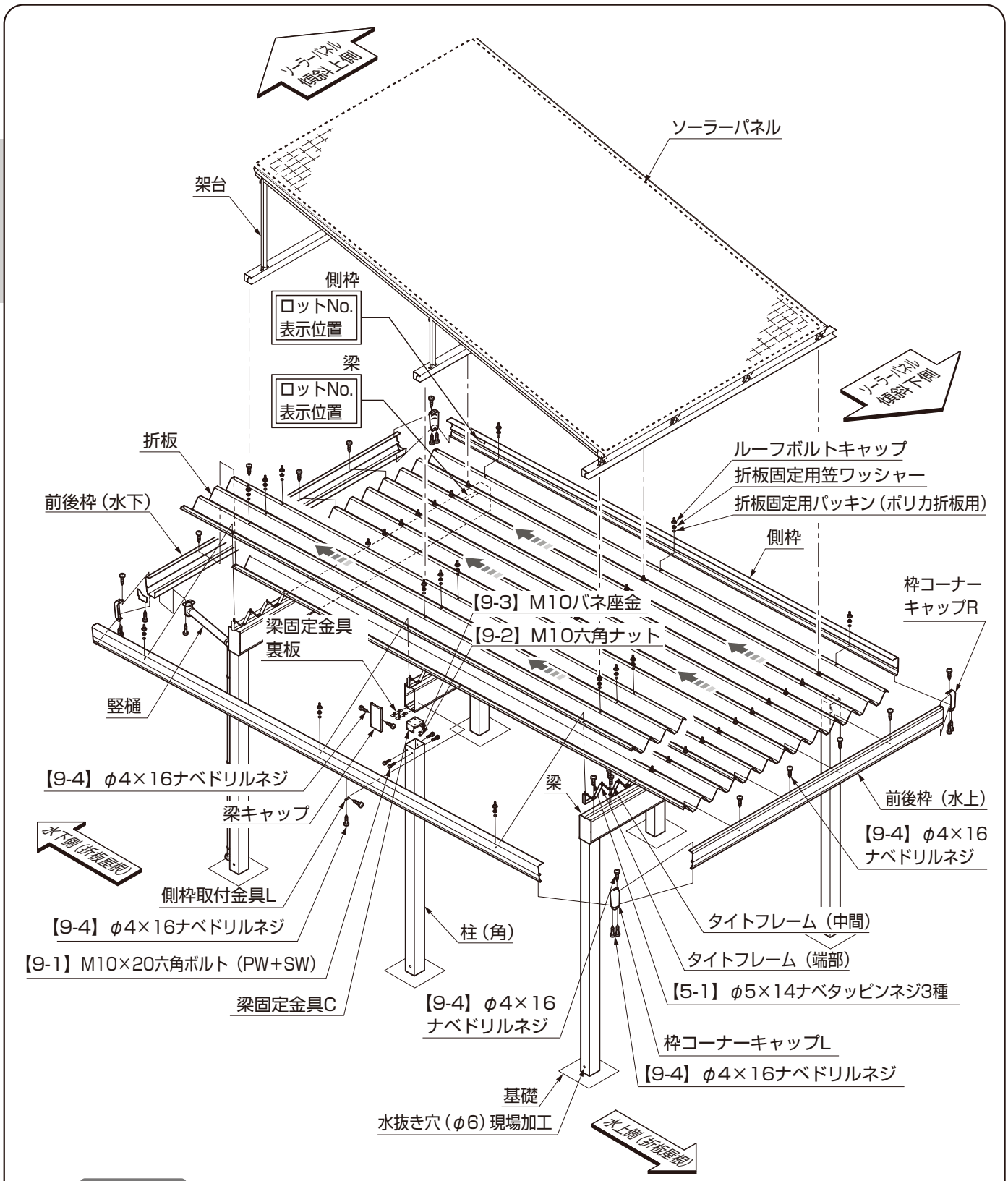
【11】水切りパッキンセット　オプション

名　称	略　図	員　数	
		4本入	5本入
水切りパッキン		4	5

2　基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称

※図は、ウィンスリーポートⅡ 本体正面側から見て、ソーラーパネルは奥行傾斜・逆傾斜を示します。



ポイント

●架台の取付けにつきましては、「ソラエルⅡ　ウィンスリーポートⅡ　－架台編－　取付説明書（D564）」を参照してください。

2. 基本寸法

2-1 奥行傾斜

※図は、ウィンスリーポートⅡ 本体正面側から見て、ソーラーパネルは奥行傾斜・逆傾斜を示します。

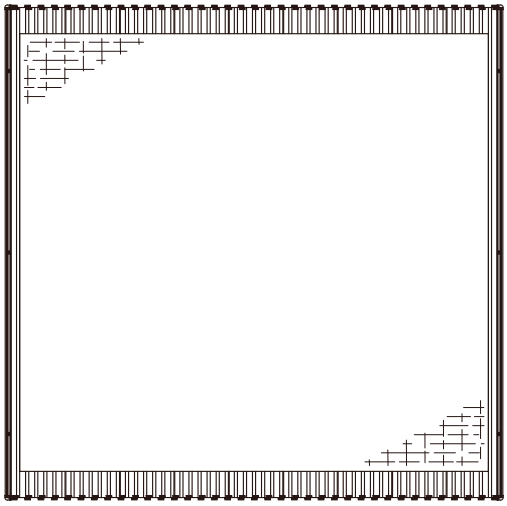
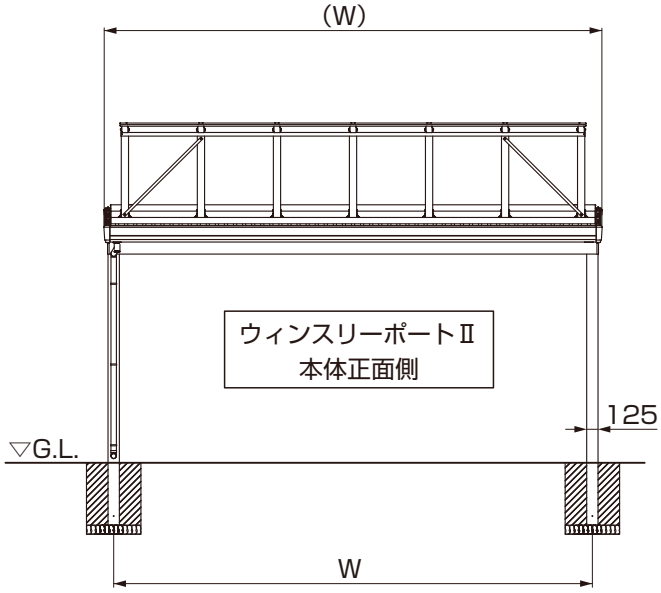
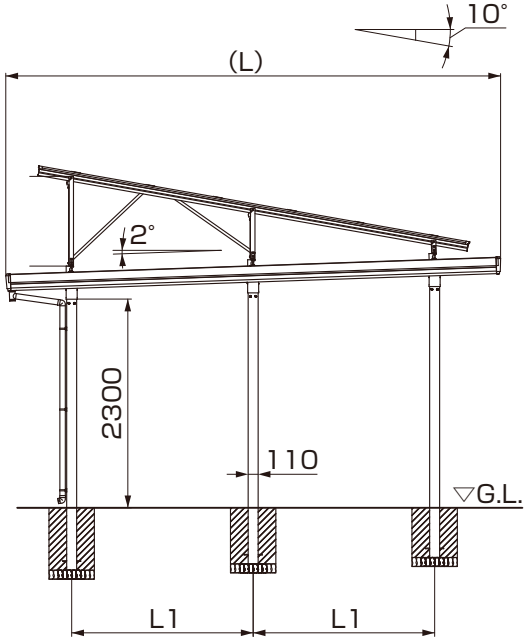


表2-1

サイズ	W	L1	(W)	(L)
30-55	2875	2000	3084.2	5453.2
30-60	2875	2200	3084.2	6052.8
55-55	5275	2000	5484.2	5453.2
55-60	5275	2200	5484.2	6052.8
60-55	5875	2000	6084.2	5453.2
60-60	5875	2200	6084.2	6052.8





ポイント

●架台の寸法につきましては、「ソラエルⅡ　ウィンスリーポートⅡ　－架台編－　取付説明書（D564）」を参照してください。

2.（つづき）

2-2 間口傾斜

※図は、ウィンスリーポートⅡ 本体正面側から見て、ソーラーパネルは左傾斜を示します。

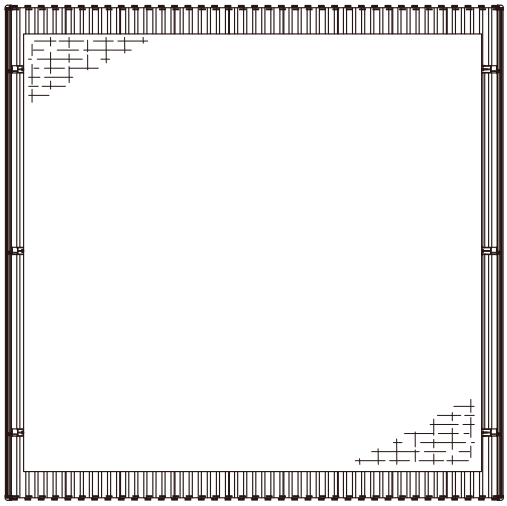
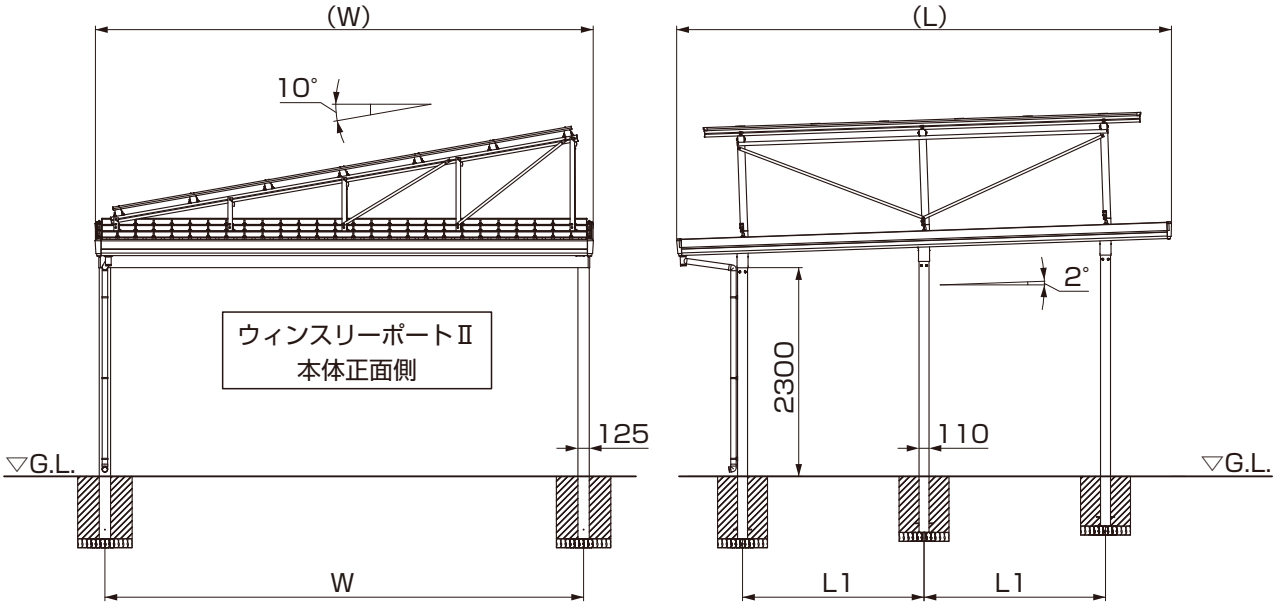


表2-2

サイズ	W	L1	(W)	(L)
30-55	2875	2000	3084.2	5453.2
30-60	2875	2200	3084.2	6052.8
55-55	5275	2000	5484.2	5453.2
55-60	5275	2200	5484.2	6052.8
60-55	5875	2000	6084.2	5453.2
60-60	5875	2200	6084.2	6052.8



ポイント

●架台の寸法につきましては、「ソラエルⅡ　ウィンスリーポートⅡ　－架台編－　取付説明書（D564）」を参照してください。

3　本体の施工方法

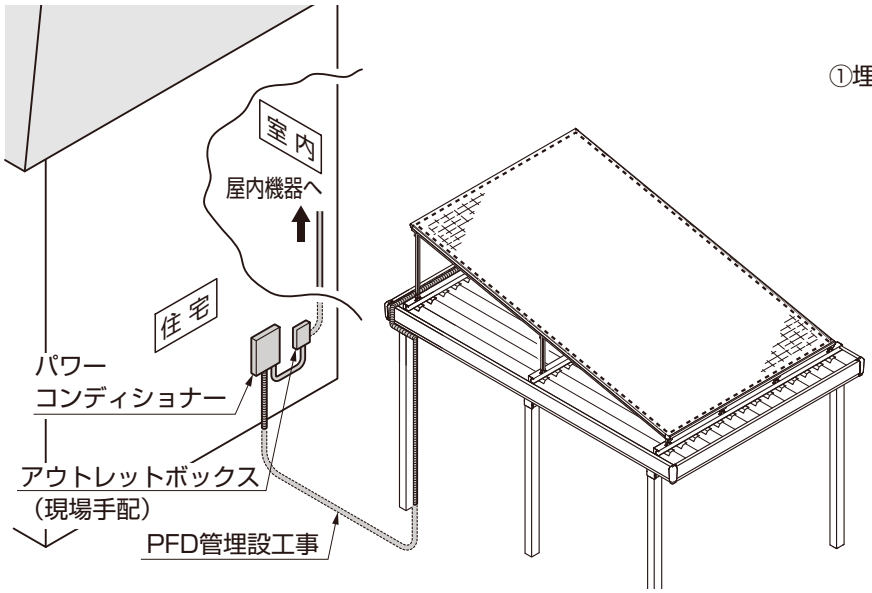
1. 事前確認

1-1　埋設管立ち上げ位置の確認

注 意

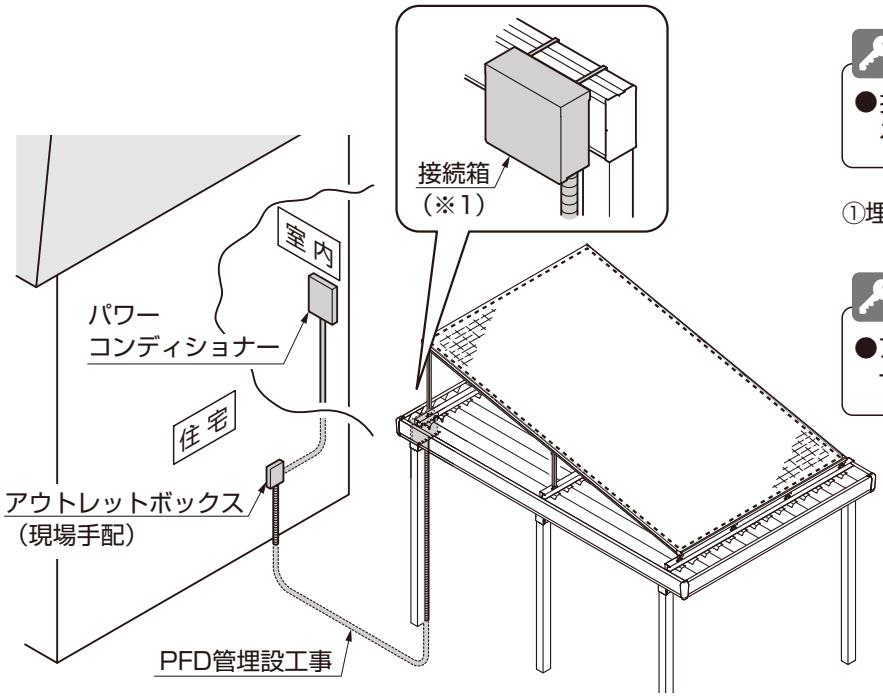
●電気配線工事に関しては電気工事有資格者による施工をお願いします。
●電気配線工事は「電気工事業法」・「電気工事士法」・「労働安全衛生規則」および「電気設備技術基準」にしたがってください。

（1）屋外用パワーコンディショナーを使う場合



①埋設管立ち上げ位置を確認してください。

（2）屋内用パワーコンディショナーを現場で別途使う場合



ポイント

●接続箱は、住宅の壁面に取付けすることも可能です。（※1）

①埋設管立ち上げ位置を確認してください。

ポイント

●アウトレットボックスは別途手配してください。

2. 基礎の施工

2-1　基礎位置の墨出し

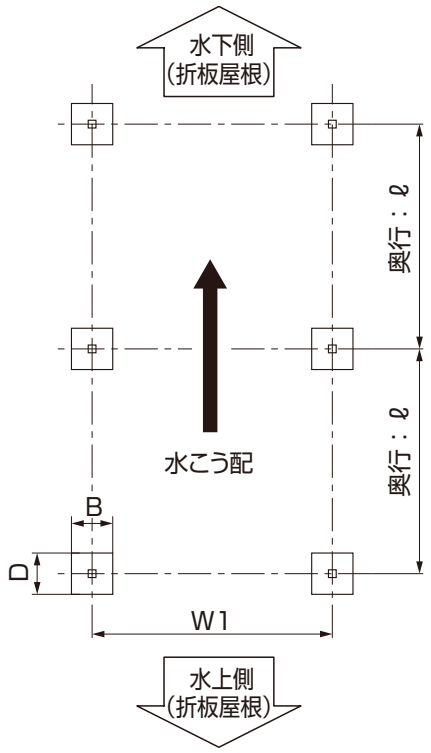


図2-1

表2-1　間口傾斜　基礎サイズ表

	底面圧力考慮			底面・側面圧力考慮		
	地耐力	B(mm)	D(mm)	地耐力	B(mm)	D(mm)
30-55	30	750	800	30	600	600
	50	750	800	50	500	500
	100	750	750	100	450	450
30-60	30	800	850	30	650	650
	50	800	850	50	550	550
	100	800	800	100	450	450
55-55	30	950	1000	30	800	800
	50	950	950	50	700	700
	100	950	950	100	600	600
55-60	30	1000	1050	30	850	850
	50	1000	1050	50	800	800
	100	1000	1000	100	650	650
60-55	30	1000	1000	30	850	850
	50	1000	1000	50	750	750
	100	1000	1000	100	650	650
60-60	30	1050	1100	30	900	900
	50	1050	1050	50	850	850
	100	1050	1050	100	650	650

表2-2　奥行傾斜　基礎サイズ表

	底面圧力考慮			底面・側面圧力考慮		
	地耐力	B(mm)	D(mm)	地耐力	B(mm)	D(mm)
30-55 逆傾斜	30	750	800	30	600	600
	50	750	800	50	500	500
	100	750	750	100	450	450
30-55 同傾斜	30	750	800	30	600	600
	50	750	800	50	500	500
	100	750	750	100	450	450
30-60 逆傾斜	30	800	850	30	650	650
	50	800	800	50	550	550
	100	800	800	100	450	450
30-60 同傾斜	30	800	850	30	650	650
	50	800	800	50	550	550
	100	800	800	100	450	450
55-55 逆傾斜	30	950	1000	30	800	800
	50	950	1000	50	750	750
	100	950	950	100	600	600
55-55 同傾斜	30	950	1000	30	800	800
	50	950	1000	50	750	750
	100	950	950	100	600	600

	底面圧力考慮			底面・側面圧力考慮		
	地耐力	B(mm)	D(mm)	地耐力	B(mm)	D(mm)
55-60 逆傾斜	30	1000	1100	30	900	900
	50	1000	1050	50	800	800
	100	1000	1000	100	650	650
55-60 同傾斜	30	1000	1100	30	900	900
	50	1000	1050	50	800	800
	100	1000	1000	100	650	650
60-55 逆傾斜	30	1000	1050	30	850	850
	50	1000	1000	50	800	800
	100	1000	1000	100	650	650
60-55 同傾斜	30	1000	1050	30	850	850
	50	1000	1000	50	800	800
	100	1000	1000	100	650	650
60-60 逆傾斜	30	1050	1100	30	950	950
	50	1050	1100	50	850	850
	100	1050	1050	100	650	650
60-60 同傾斜	30	1050	1100	30	950	950
	50	1050	1100	50	850	850
	100	1050	1050	100	650	650

①図2-1、表2-1、表2-2を参照し、柱の埋め込み位置を出し、基礎位置を墨出してください。

2-2　柱の埋込み

（1）柱を切断せず埋込む場合

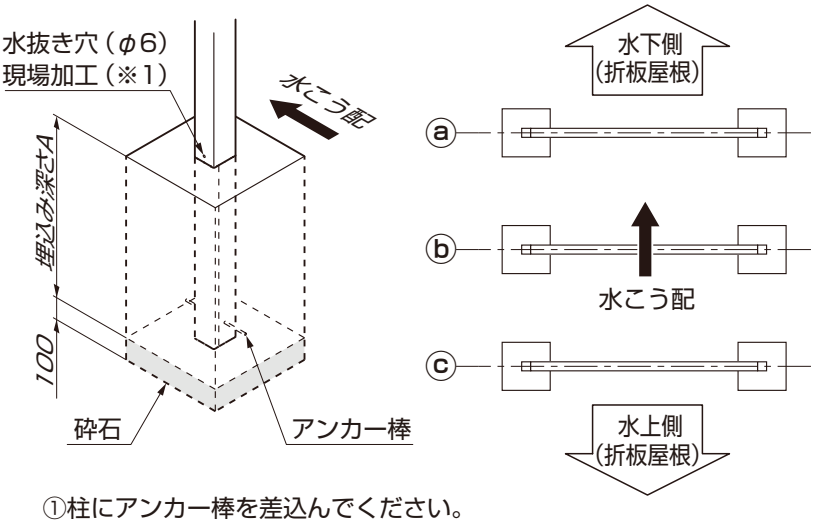


表2-3　埋込み寸法

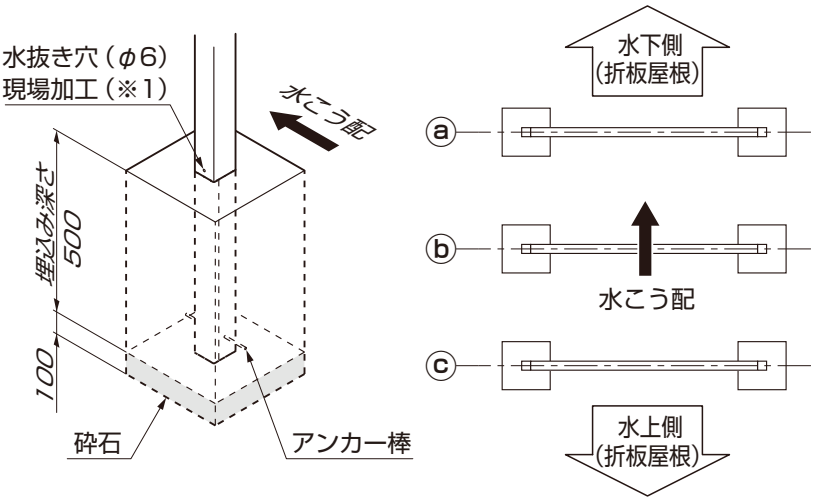
サイズ	埋込み深さA		
	ⓐ	ⓑ	ⓒ
奥行55	687	617	547
奥行60	687	610	533

①柱にアンカー棒を差込んでください。
②基礎穴を掘り、柱を埋込んでください。

注 意

●柱内の水抜きができるよう基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。（※1）

（2）柱を切断して（柱埋込み深さを合わせて）埋込む場合



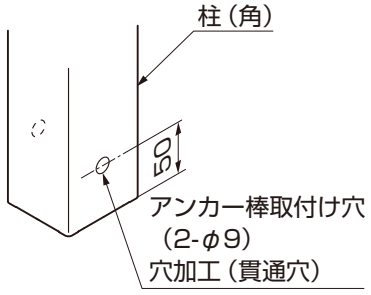


表2-4　切断寸法

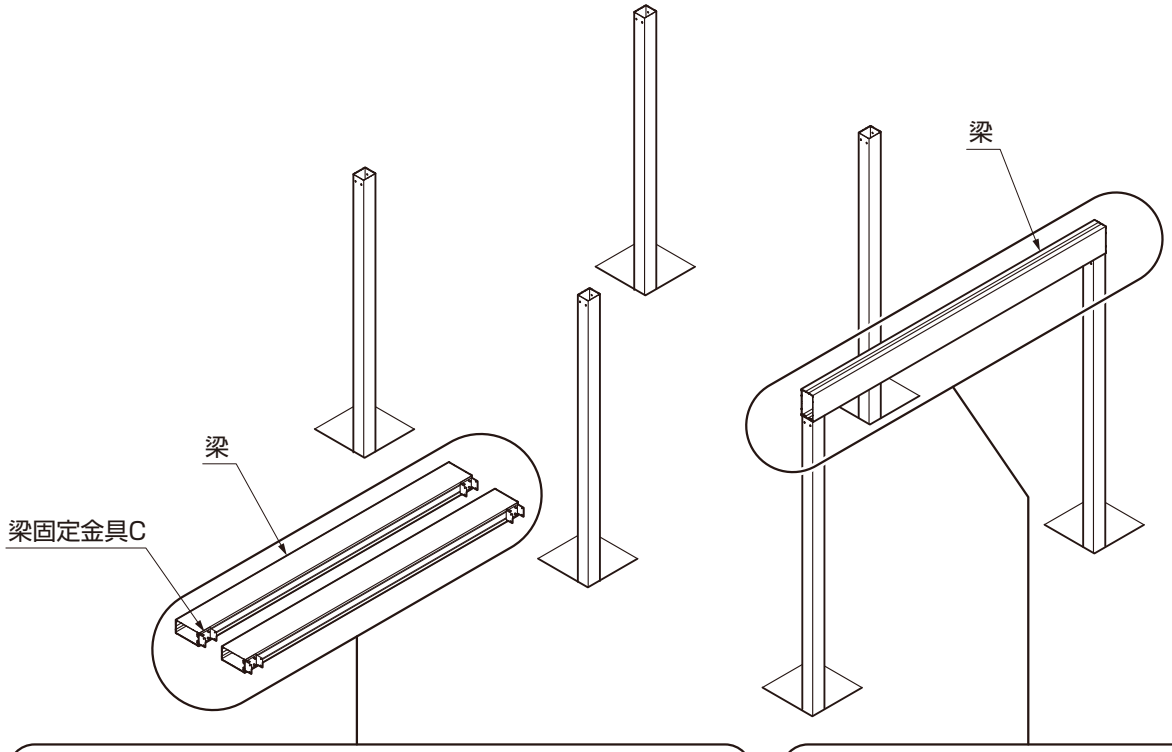
サイズ	埋込み深さ	柱切断寸法		
		ⓐ	ⓑ	ⓒ
奥行55	500	187	117	47
奥行60	500	187	110	33

①柱を切断して、アンカー棒取付け穴（2-φ9）をあけてください。
②柱にアンカー棒を差込んでください。
③基礎穴を掘り、柱を埋込んでください。

注 意

●柱内の水抜きができるよう基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。（※1）

3. 梁の取付け



3-1 梁固定金具Cの取付け

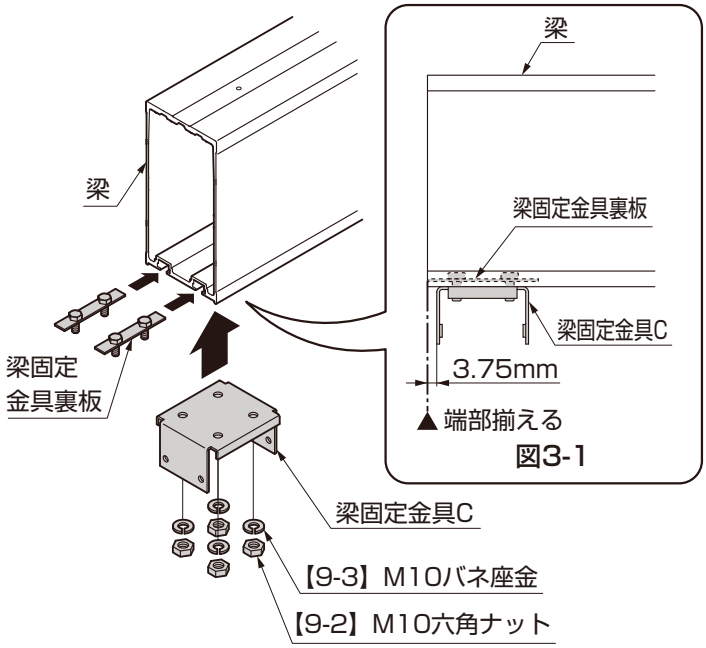


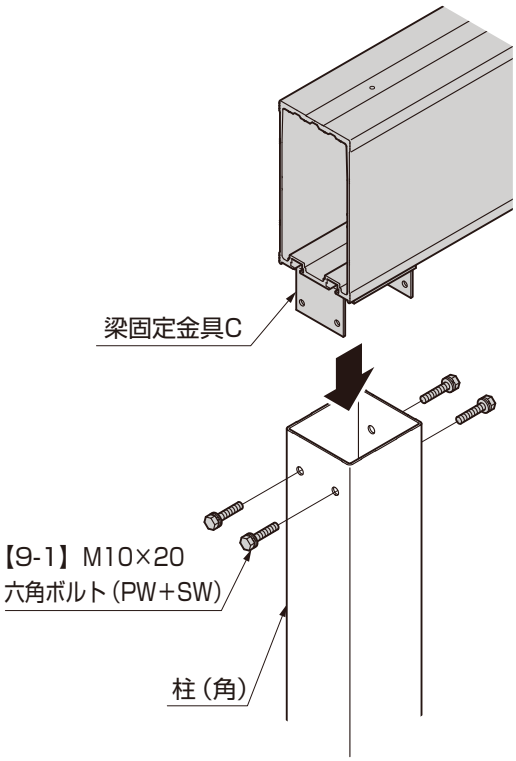
図3-1

①梁固定金具裏板を梁に挿入し、梁固定金具Cを【9-2】、【9-3】で取付けてください。

ポイント

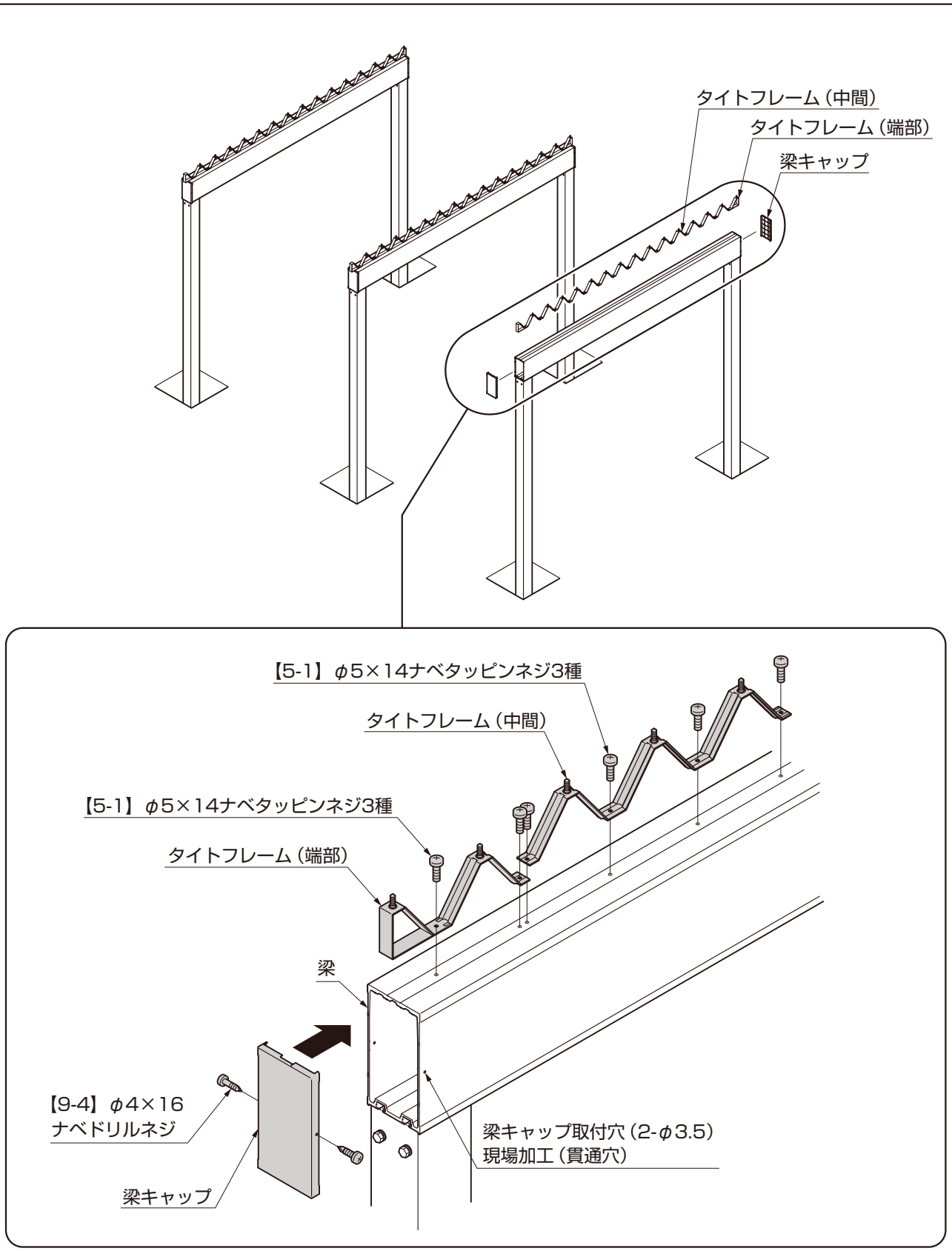
- ●梁固定金具Cの取付け位置に注意してください。（図3-1参照）
- ●梁端部と梁固定金具裏板の端部が揃うように取付けてください。

3-2 柱と梁の固定



①梁固定金具Cを柱に差込み、【9-1】で固定してください。

4. タイトフレーム・梁キャップの取付け



①タイトフレームを梁に【5-1】で取付けてください。
②梁キャップを梁に仮当てし、梁キャップ取付穴（2-φ3.5）をあけてください。
③梁キャップを梁に【9-4】で取付けてください。

5. 折板・側枠の加工

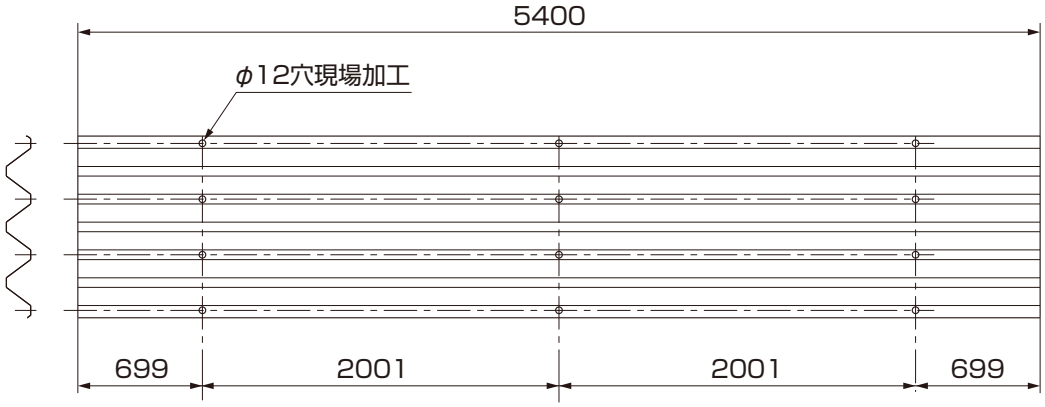


図5-1　折板（奥行55）

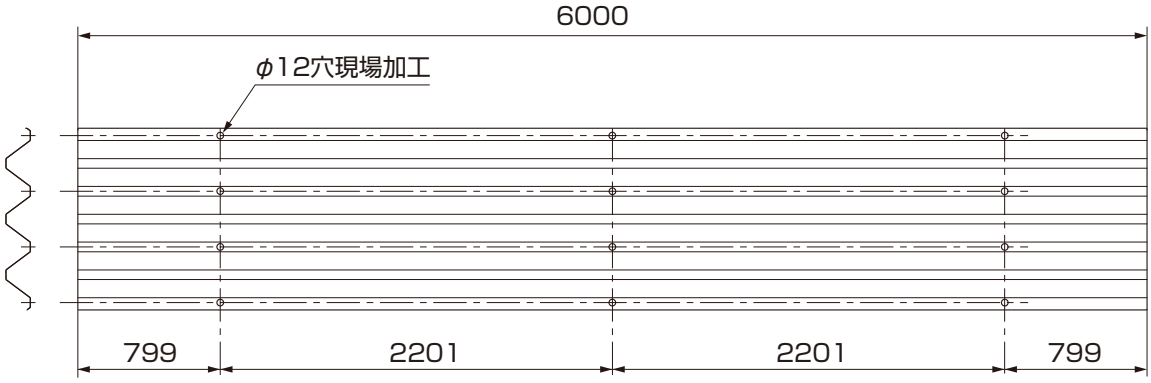


図5-2　折板（奥行60）

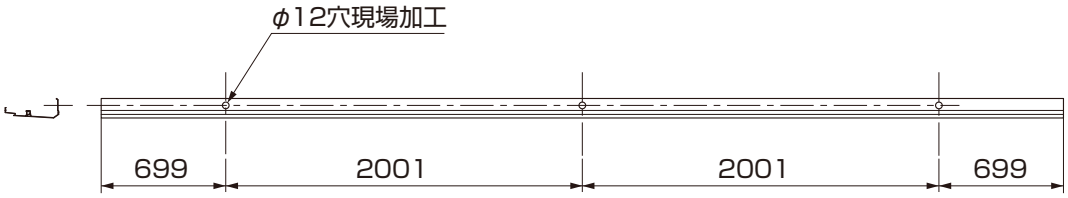


図5-3　側枠（奥行55）

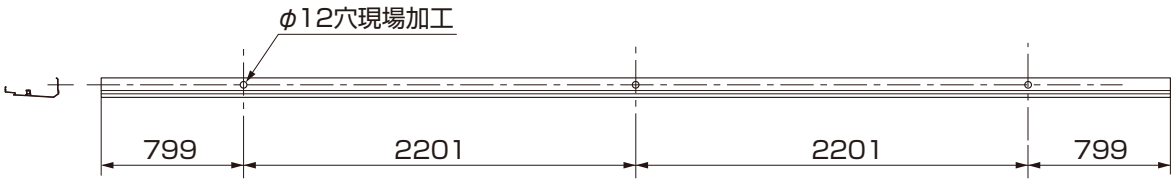


図5-4　側枠（奥行60）

①折板と側枠にφ12の穴加工をしてください。
（奥行55の場合：図5-1、図5-3参照）（奥行60の場合：図5-2、図5-4参照）

ポイント

●折板加工後は、折板から切粉を取り除いてください。サビの原因になります。

6. 化粧枠の取付け オプション ※化粧枠を取付ける場合の作業です。

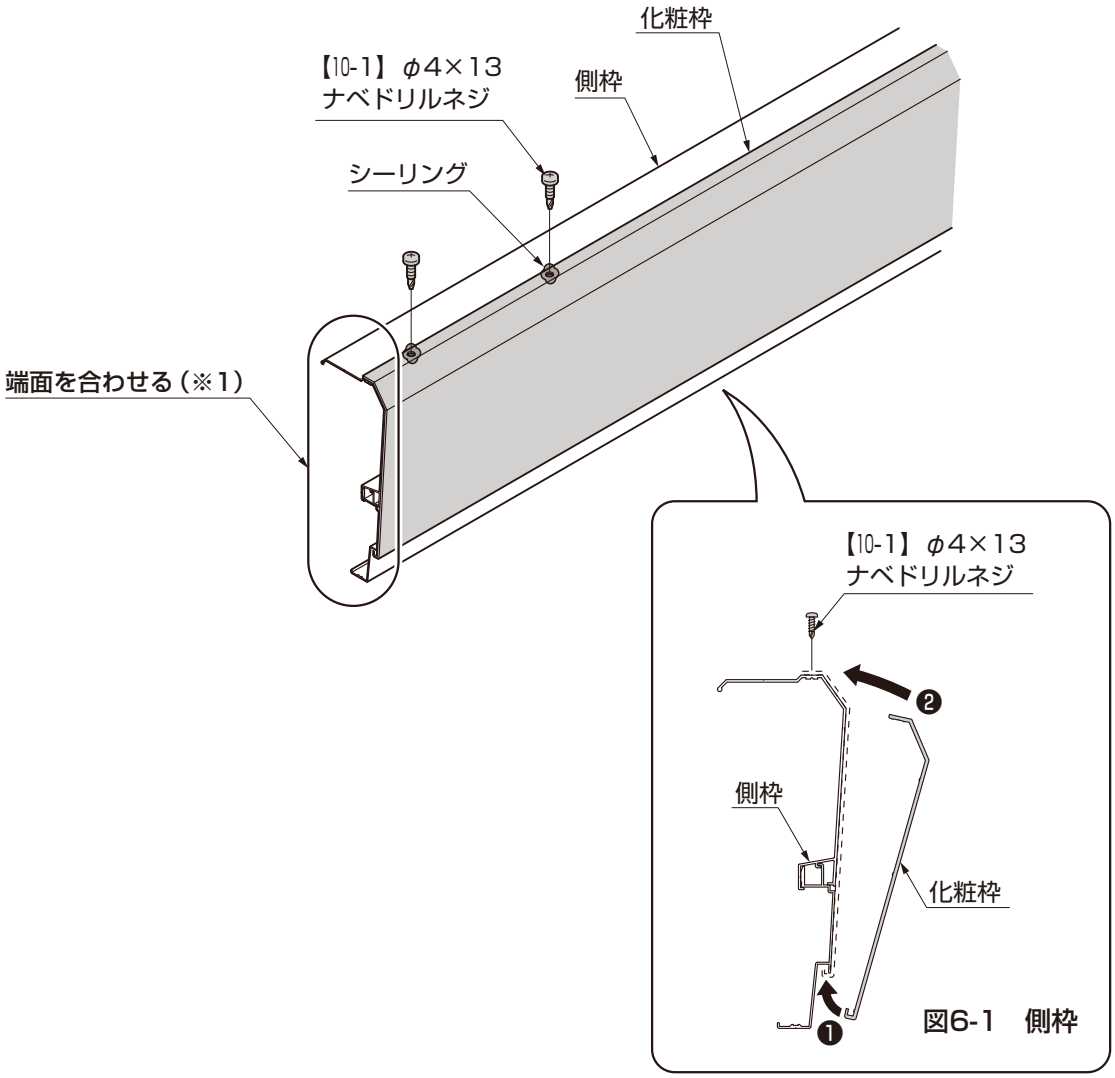


図6-1　側枠

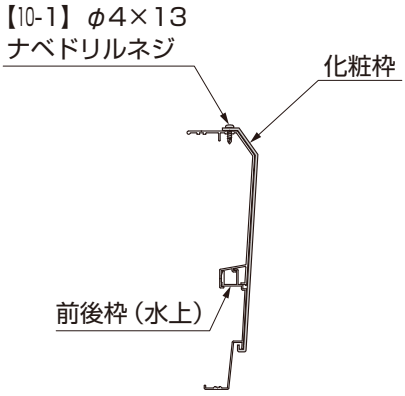


図6-2　前後枠（水上）

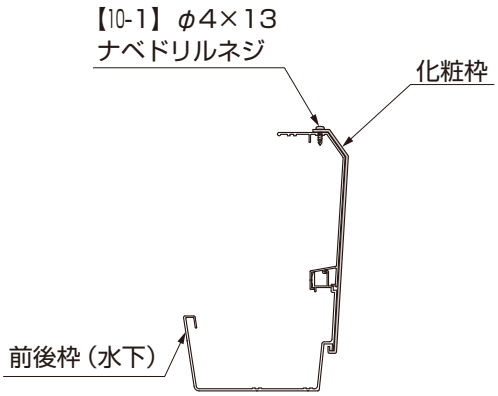


図6-3　前後枠（水下）

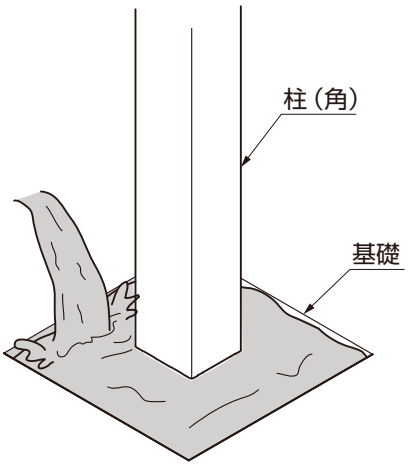
①側枠、前後枠（水上）、前後枠（水下）に化粧枠を、❶→❷の順でかぶせて【10-1】で取付けてください。
②ネジの周りにシーリングをしてください。

ポイント

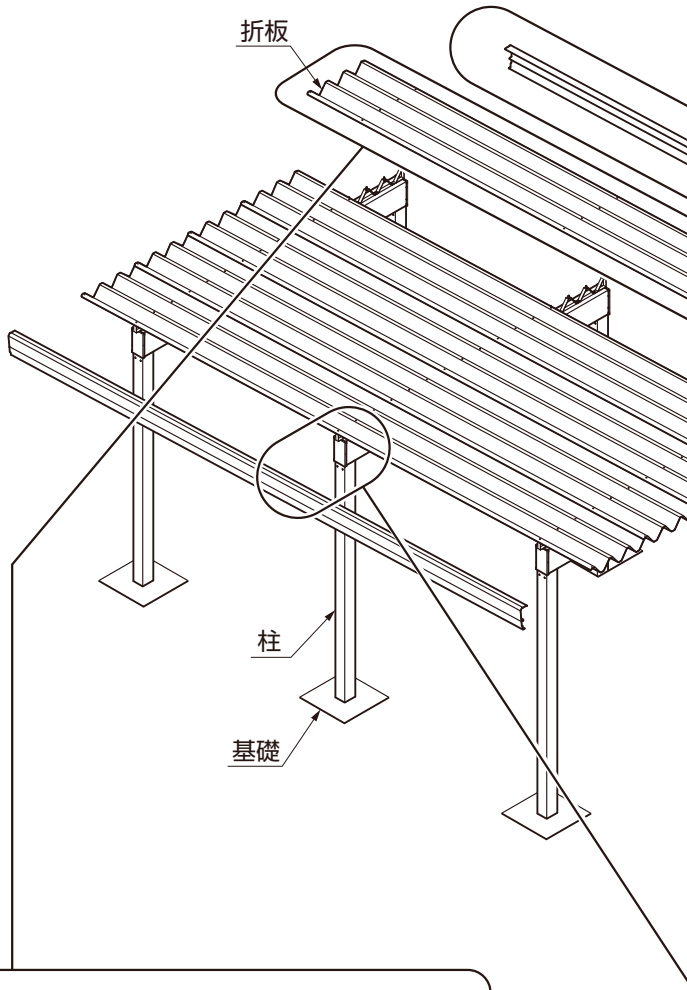
●側枠、前後枠（水上）、前後枠（水下）と化粧枠の端面を合わせて取付けてください。（※1）

7. 折板・側枠の取付け

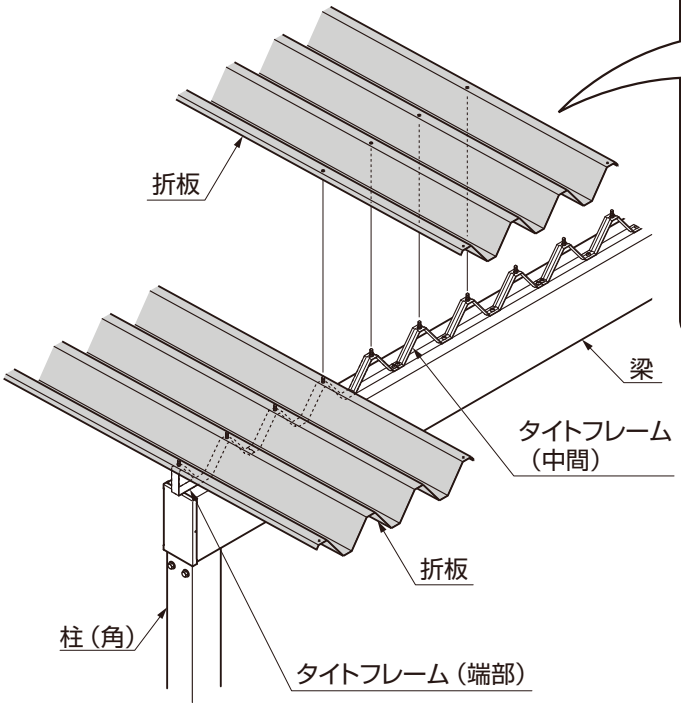
7-1　側枠の仮置き・基礎コンクリートの打設



①タイトフレームに、加工した側枠を仮組付けして、梁の水平・柱の垂直を確認してください。
②基礎コンクリートを打設してください。



7-2　折板の仮取付け



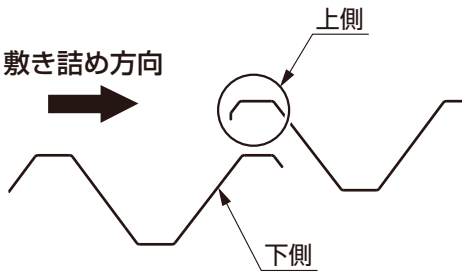
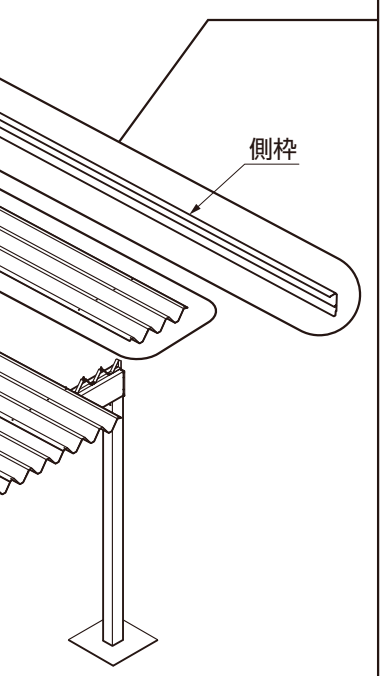


図7-1　折板重なり部詳細図

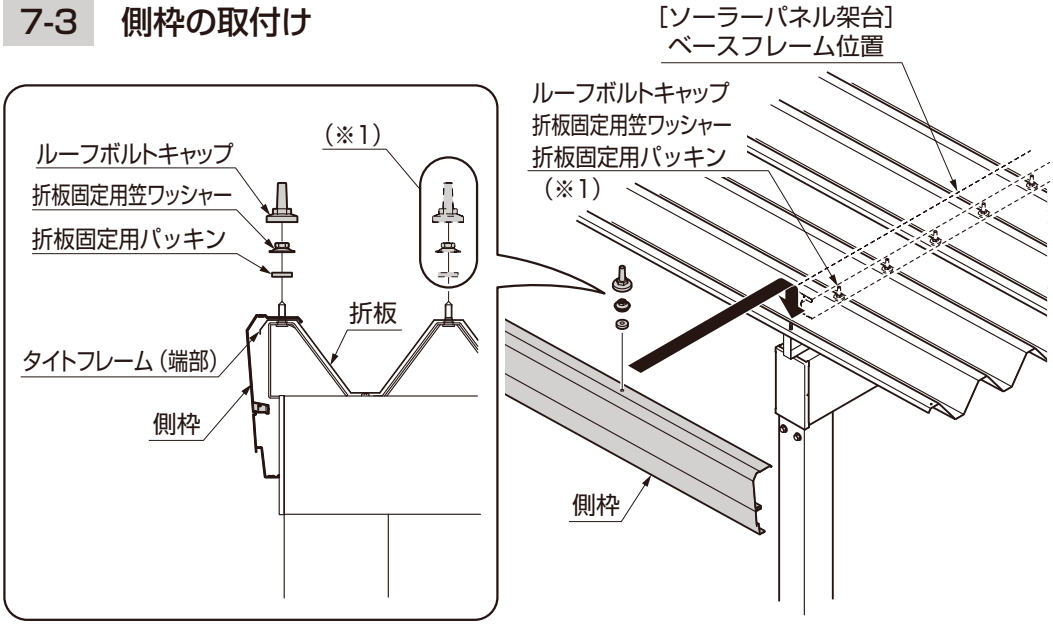
①仮組付けしてある側枠を一旦外してください。
②折板をタイトフレームに置いてください。

ポイント

●折板の重なり部分は形状が合うように向きに注意し、片側から順に敷き詰めてください。（図7-1参照）



7-3　側枠の取付け



①側枠をタイトフレームに取付け、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキン、ルーフボルトキャップで固定してください。

ポイント

●両端以外の折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキン、ルーフボルトキャップは、［ソーラーパネル架台］ベースフレームを取付けの際、取付けとなりますので仮止めとしてください。（※1）

7-4　側枠取付金具の取付け

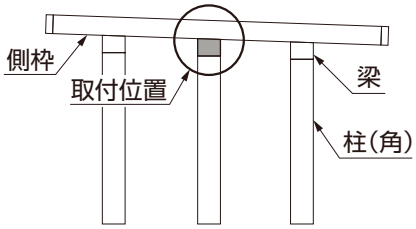
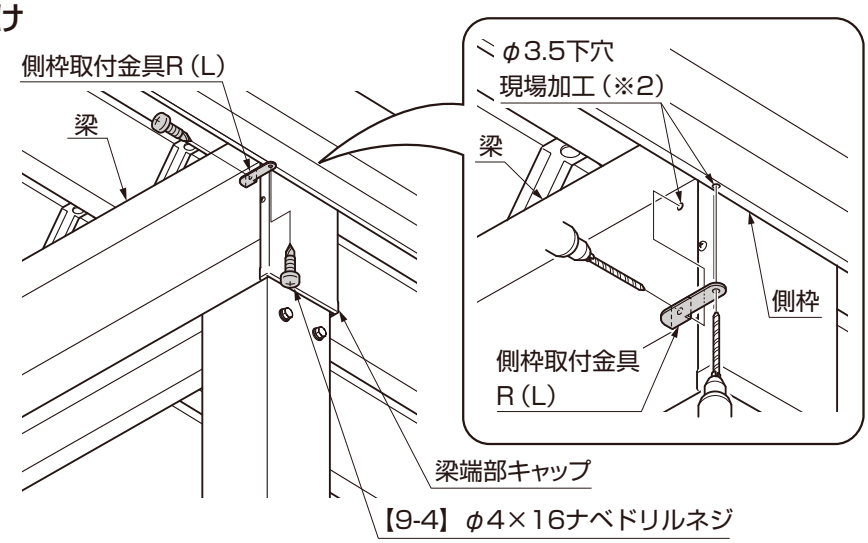


図7-2　側枠取付金具取付位置

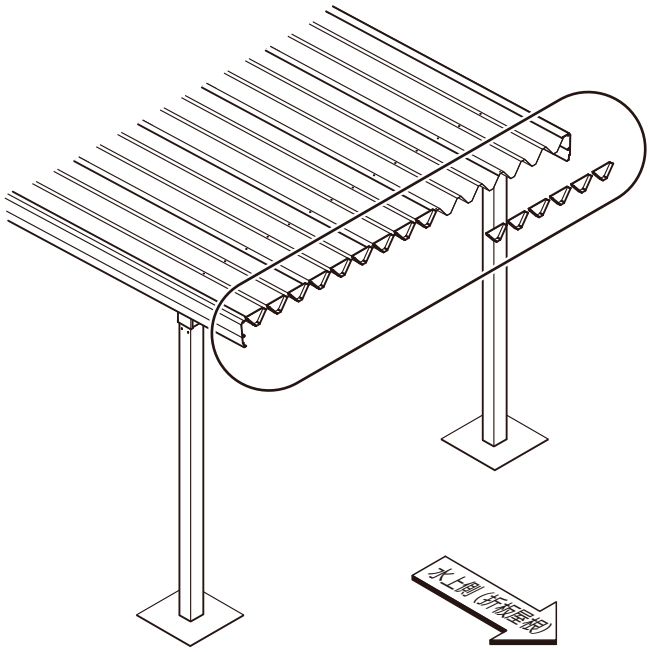


①図7-2を参照して、側枠取付金具を側枠下面と梁に当て、φ3.5下穴をあけてください。（※2）
②側枠取付金具を【9-4】で取付けてください。

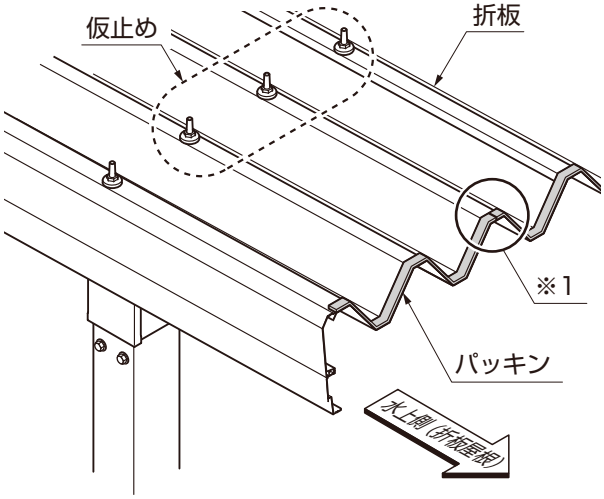
ポイント

●側枠取付金具は梁の片面のみの取付けです。

8. 水上面戸の取付け



8-1 パッキンの貼付け（1）

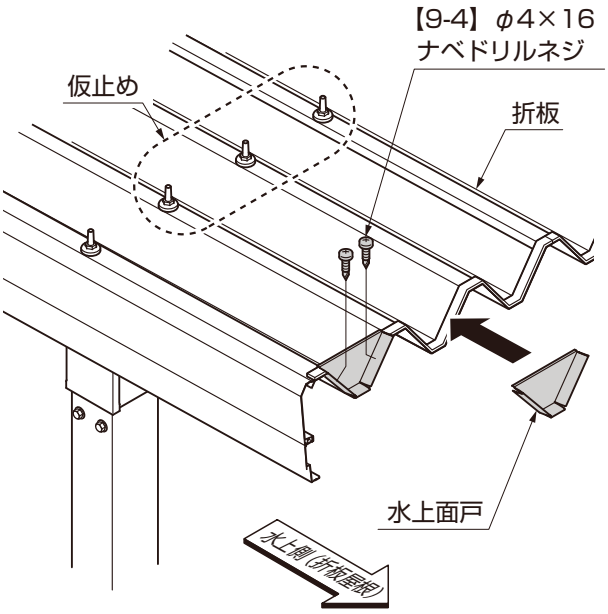


①水上側の折板の端部にパッキンを貼付けてください。

ポイント

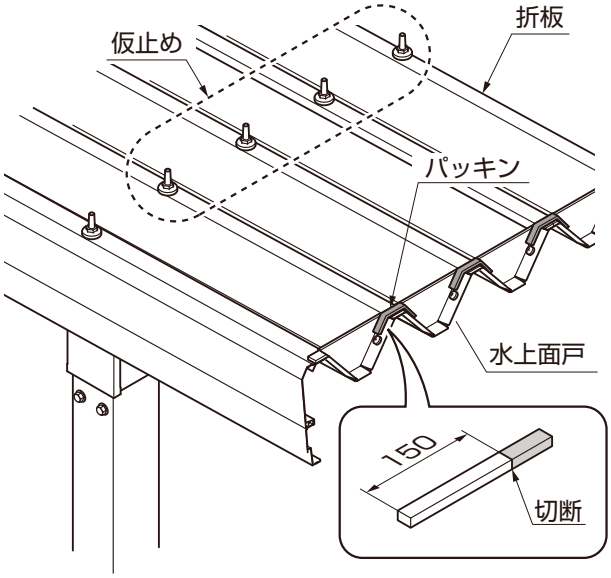
●パッキンをつなぐときは、折板の山の上で行なってください。（※1）

8-2 水上面戸の取付け



①水上側の折板の端部に水上面戸をはめ込み、奥まで押込んでください。
②水上面戸を折板に【9-4】で固定してください。

8-3 パッキンの貼付け（2）



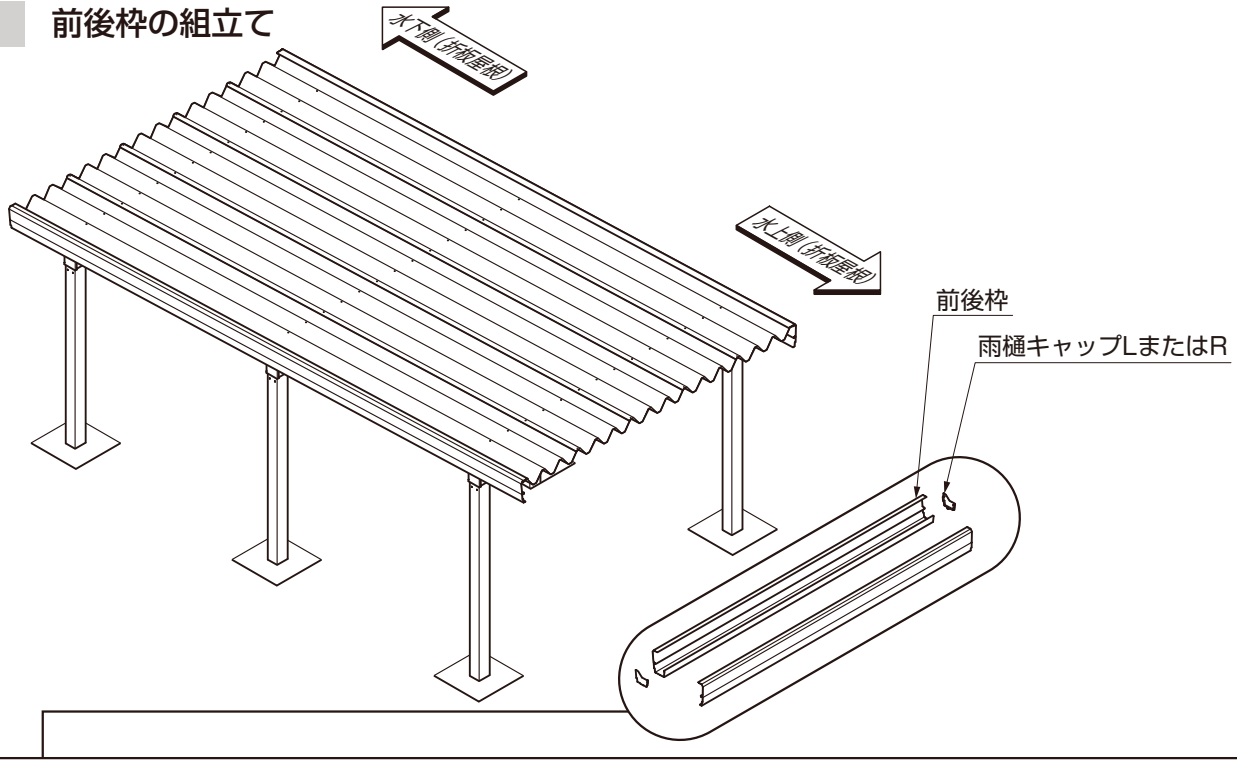
①パッキンを150mmに切断してください。
②水上面戸、折板にパッキンを貼付けてください。

ポイント

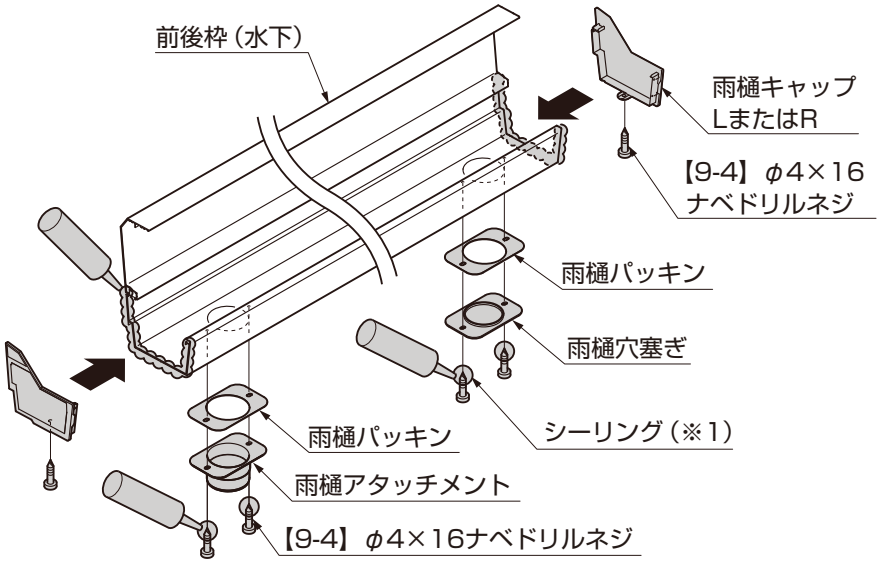
●パッキンは水上面戸のコーナーに合わせて貼付けてください。

9. 前後枠の取付け

9-1 前後枠の組立て



（1）雨樋キャップ、雨樋アタッチメントの取付け



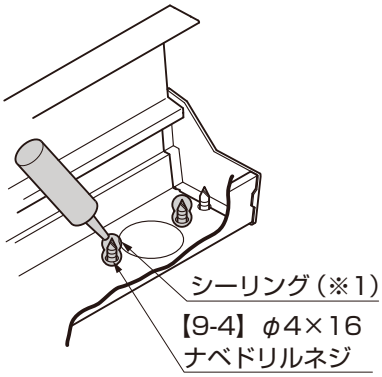


図9-1

①前後枠（水下）に、シーリングしてください。
②前後枠（水下）に、雨樋キャップを【9-4】で取付けてください。
③雨樋アタッチメントを、前後枠（水下）に【9-4】で取付けてください。
④【9-4】の先端を、シーリングしてください。（図9-1参照）

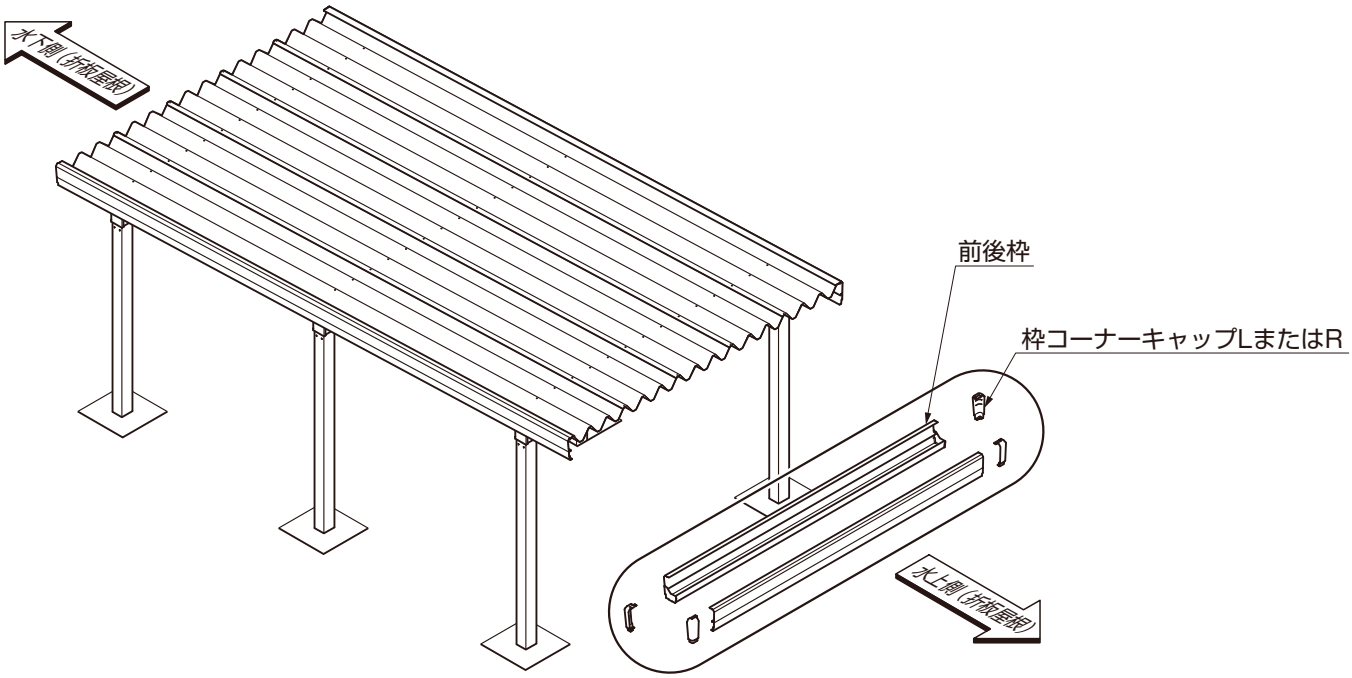
注 意

●お施主様による本体清掃時の安全のため、指定箇所の先端部へシーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。（※1）

9.（つづき）



9-1　つづき

（2）枠コーナーキャップの取付け

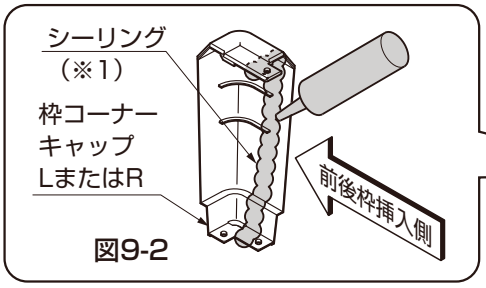


図9-2

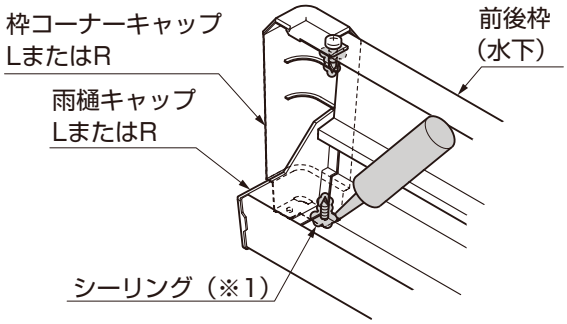


図9-4　雨樋キャップのシーリング

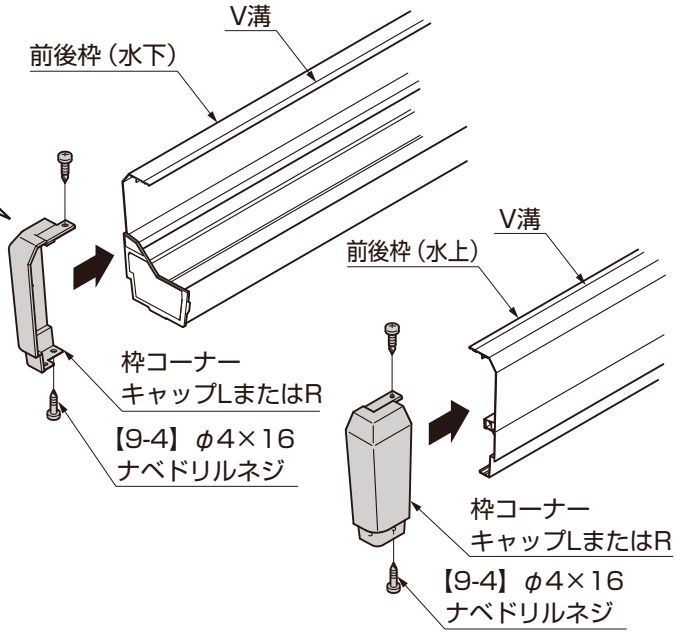


図9-3　枠コーナーキャップの取付け

①（前後枠を挿入する側の）枠コーナキャップ内側に、シーリングをしてください。（図9-2参照）
②枠コーナーキャップを、前後枠に【9-4】でV溝に合わせて取付けてください。（図9-3参照）
③枠コーナーキャップと雨樋キャップの固定したネジの先端と周りに、シーリングをしてください。（図9-4参照）

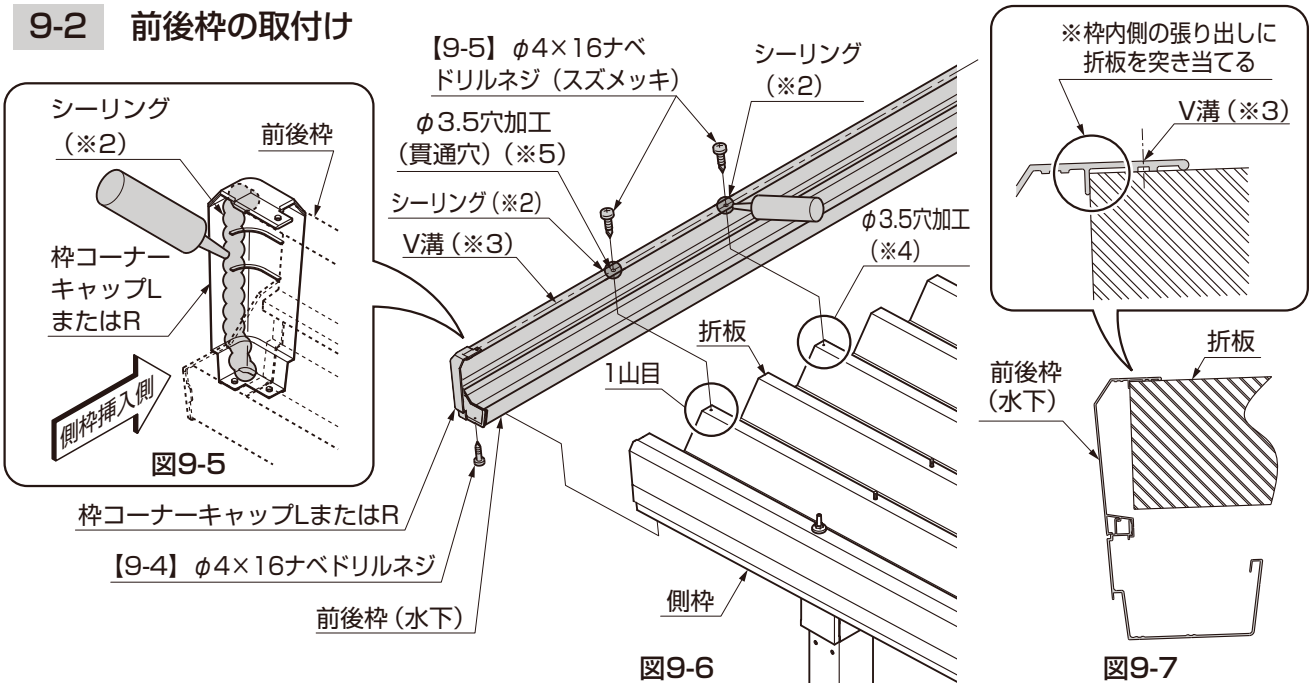
注 意

●お施主様による本体清掃時の安全のため、指定箇所の先端部へシーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。（※1）

9-2 前後枠の取付け

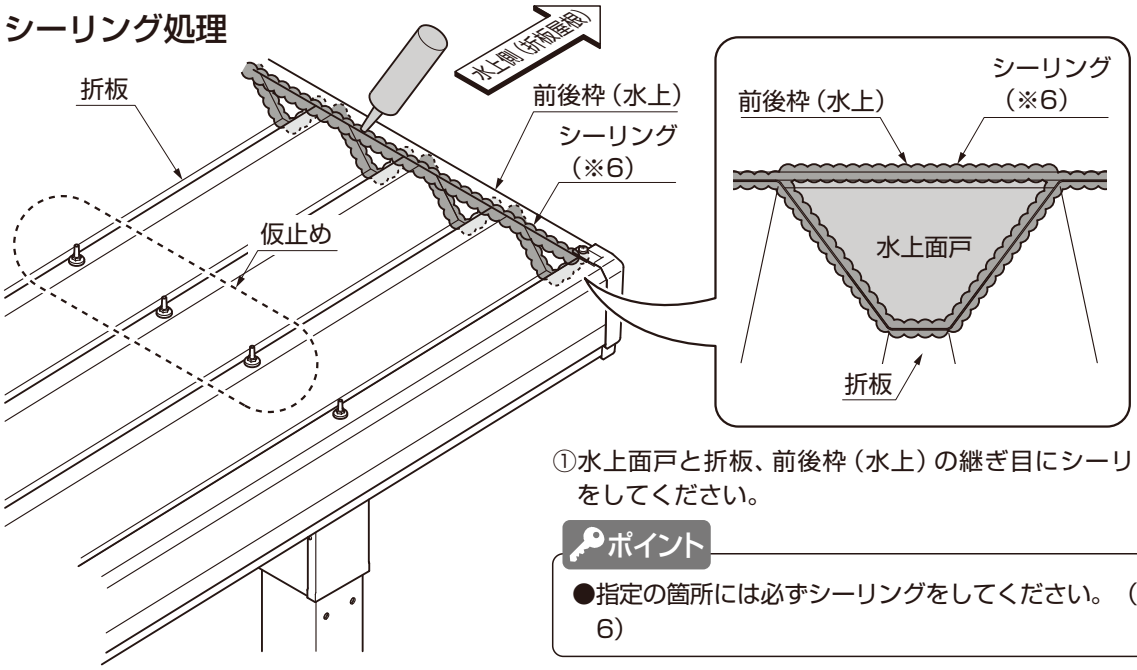


①（側枠に挿入する側の）枠コーナーキャップ内側に、シーリングをしてください。（図9-5参照）
②前後枠を、側枠に【9-4】で取付けてください。
③（前後枠の加工穴より）折板にφ3.5の穴加工をして、シーリングを充てんしてから前後枠を【9-5】で固定してください。（※4）
④両端から1山目の前後枠と折板に、φ3.5の穴加工（貫通穴）をして、シーリングを充てんしてから、【9-5】で取付けてください。（※5）

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。（※2）
- φ3.5の穴加工は前後枠上部のV溝（※3）に行なってください。

9-3 シーリング処理

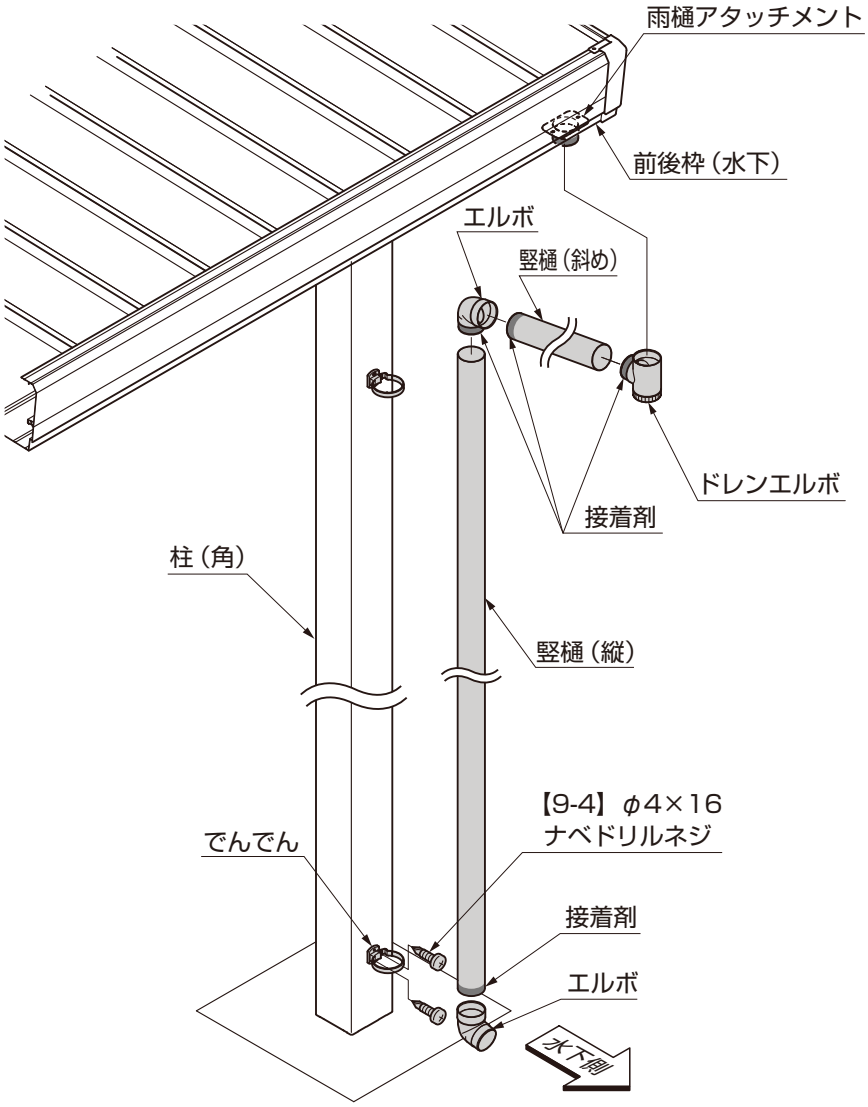


①水上面戸と折板、前後枠（水上）の継ぎ目にシーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。（※6）

10. 竪樋の取付け



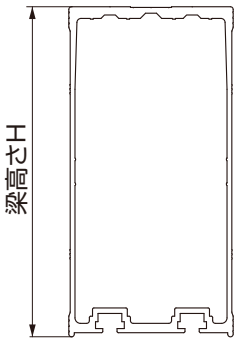


図10-1　梁高さH

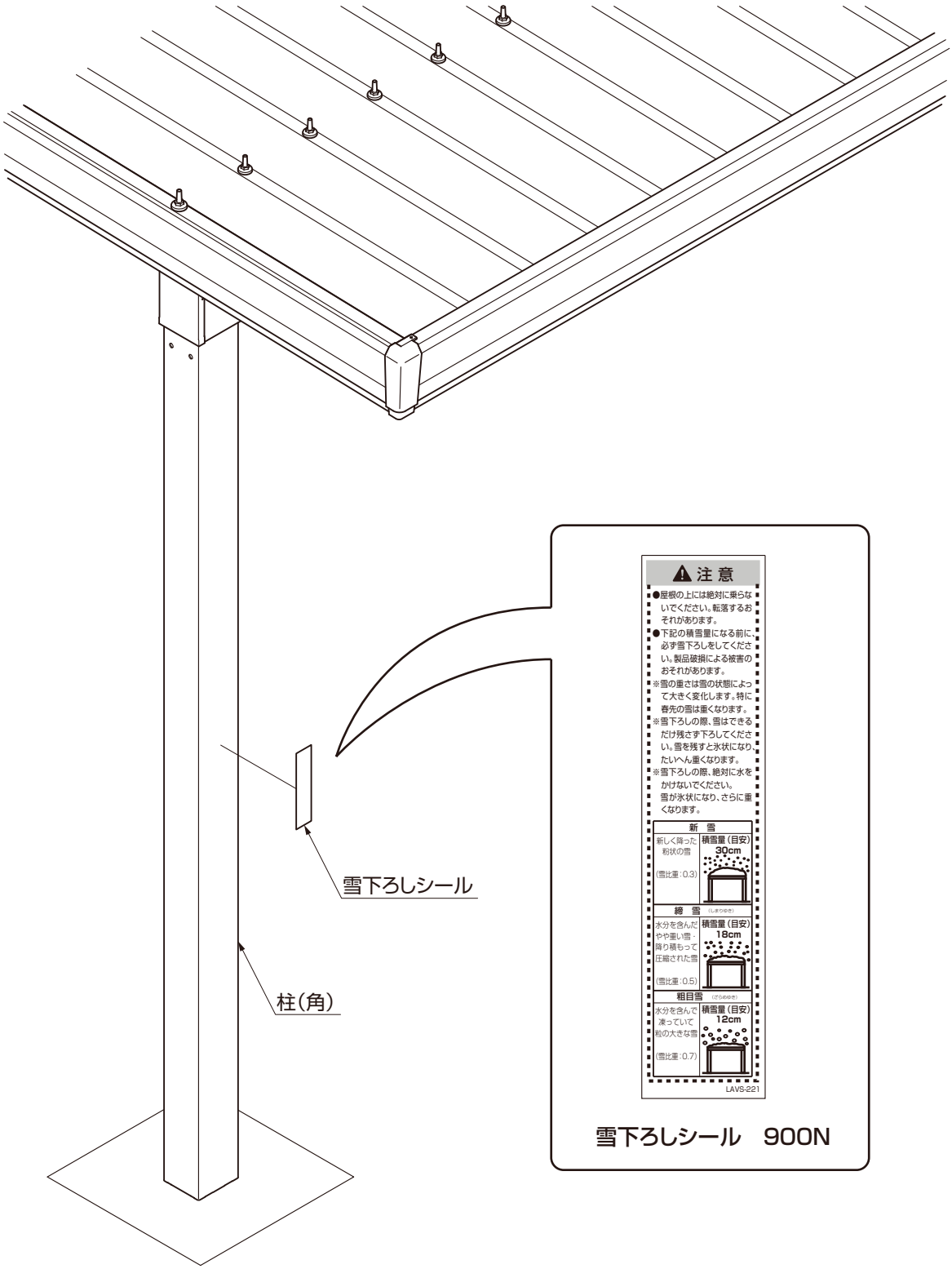
表10-1　竪樋切断寸法表

奥行きサイズ呼称	梁高さH	奥行き柱ピッチ	竪樋切断寸法	
			竪樋（斜め）	竪樋（縦）（標準柱）（※1）
55タイプ	135	2000	500	2300
	240	2000		2200
		3300	900	2150
60タイプ	135	2200	600	2250
	240	2200		2150
		3300	1200	2100

※施工する梁の高さと柱ピッチにより、竪樋の切断寸法が変わります。
※竪樋（縦）の切断寸法は、ロング柱25のときは＋200mm、ロング柱30のときは＋700mmで切断してください。（※1）

①雨樋部品を取付けてください。

11. 雪下ろしシールの貼付け



①雪下ろしシールを柱の見やすい箇所に貼付けてください。

ポイント

● 「雪下ろしシール900N」は、竪樋を取付けない側の柱の見やすい面に貼付けしてください。

12. 水切りパッキンの取付け オプション

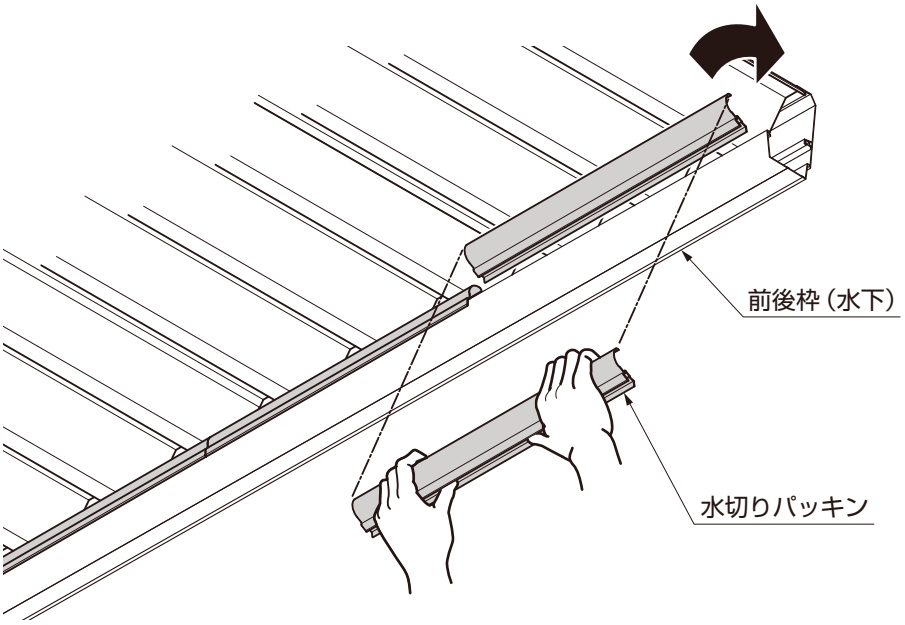
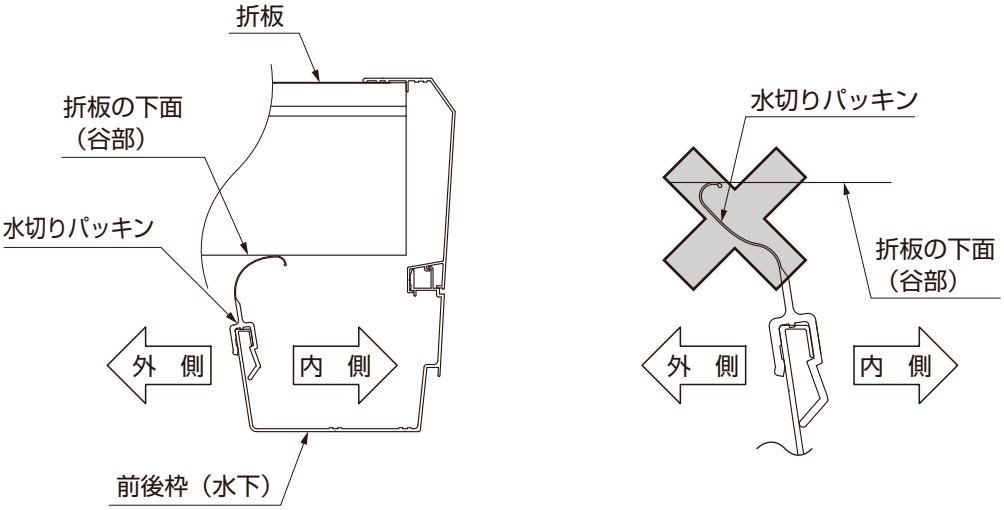


図12-1



①水切りパッキンを前後枠（水下）に、図12-1のようにかぶせ、回転させながらはめ込んでください。

ポイント

●水切りパッキン先端の向きが、前後枠の内側に向くように手で整えてください。